

#	用語	読み仮名	用語区分	説明
1	アクセスパス	アクセスパス	アーキテクチャ	【システム構成要素】間の呼び出し経路のこと。
2	アクティビティ	アクティビティ	BPM	ひとまとまりの作業を示す【BPMN要素】のこと。 【フローノード】の一種であり、【ユーザタスク】、【サービスタスク】、【サブプロセス】、【コールアクティビティ】等で構成される。 角の丸い四角で表現される。
3	イベント	イベント	BPM	【ビジネスプロセス】の開始・終了やメッセージの送信・受信等を表す【BPMN要素】のこと。 【フローノード】の一種である。 丸で表現される。
4	外部システム	ガイブシステム	システム	【内部システム】を除く【特許庁システム】及び庁外システム(特許庁業務に関係する特許庁外のシステム)のこと。 なお、刷新対象システムのうち、刷新が完了していない(特許庁アーキテクチャ標準仕様に準拠していない)システムは、【外部システム】として取り扱う。 ※別紙『各種「システム」の呼称』参照
5	外部システム連携	ガイブシステムレンケイ	アーキテクチャ	【内部システム】が【外部システム】と連携する場合に、両者の通信方式・連携メカニズムの相違を変換(ギャップ吸収)する【システム構成要素】のこと。
6	外部システム連携層	ガイブシステムレンケイソウ	アーキテクチャ	【内部システム】が【外部システム】と連携する際のギャップ吸収を担う【外部システム連携】が配置される層のこと。
7	画面群	ガメンゲン	アーキテクチャ	【業務アプリケーション(画面)】の単位と整合する、同一の機能特性を有する画面の集合体のこと。
8	基盤機能層	キバンキノウソウ	アーキテクチャ	【業務層】と【共有DB層】との接続を担う【DBアクセス基盤サービス】が配置される層のこと。
9	共通業務イベントデータ	キョウツウギョウムイベントデータ	データ	【個別データベース】に配置されるデータのうち、【内部システム】及び【外部システム】から使用される【業務イベントデータ】のこと。
10	共通リソースデータ	キョウツウリソースデータ	データ	【個別データベース】に配置されるデータのうち、【内部システム】及び【外部システム】から使用される【リソースデータ】のこと。
11	業務アプリケーション(画面)	ギョウムアプリケーション(ガメン)	アーキテクチャ	業務処理の実行のうち、画面を備える処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。
12	業務アプリケーション(サービス)	ギョウムアプリケーション(サービス)	アーキテクチャ	業務処理の実行のうち、【サービスインタフェース】を提供する処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。
13	業務アプリケーション(外受)	ギョウムアプリケーション(ソトウケ)	アーキテクチャ	業務処理の実行のうち、【外部システム】からのアクセスであって、特許庁アーキテクチャ標準仕様に準拠していないアクセスによる処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。

#	用語	読み仮名	用語区分	説明
14	業務アプリケーション(パッチ)	ギョウムアプリケーション(パッチ)	アーキテクチャ	業務処理の実行のうち、次の①あるいは②のいずれかの処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。 ①予め定められた期間あるいは日時に処理の実行を開始するもの。 ②複数の【業務キー】に関する処理を、一括して処理せざるをえないもの。
15	業務イベントデータ	ギョウムイベントデータ	データ	業務に伴って発生した出来事(イベント)の詳細を記録したデータのこと。 【業務イベントデータ】を生成する際は、【業務イベントデータ】に関連した【リソースデータ】を事前に生成しておく必要がある。
16	業務キー	ギョウムキー	アーキテクチャ	【内部システム】において、業務を処理する上で対象を特定するために使用するキーのこと。 【業務キー】は【業務キー区分コード】と【業務キー主部】とから構成される。
17	業務キー区分コード	ギョウムキーブ ンコード	アーキテクチャ	各【業務キー区分名】に個別に割り当てられた半角数字3桁のコードのこと。
18	業務キー区分名	ギョウムキーブ ンメイ	アーキテクチャ	【業務キー主部】を属する番号体系で分類した際の、各番号体系の名称のこと。
19	業務キー主部	ギョウムキーシュ ブ	アーキテクチャ	特許出願番号、受付番号、審判番号といった番号体系ごとに、業務の単位となる事件や書類に対して固有に割り当てられる番号のこと。 「通番」、「西暦+通番」等で構成される。 【業務キー主部】単独では異なる番号体系の間で重複することとなるため、【内部システム】において【業務処理】の対象を特定する上では、属する番号体系自体を示す【業務キー区分コード】とあわせて、固有の【業務キー】を構成している。
20	業務情報	ギョウムジョウホウ	アーキテクチャ	業務に関する情報のこと。 ただし、情報を特定するために用いられる【業務キー】は含まれない。
21	業務処理	ギョウムショリ	アーキテクチャ	①業務要件に則して、【業務情報】を作成・参照・更新・削除すること。 ②【業務アプリケーション(サービス)】類型1が提供する【サービスインタフェース】のこと。
22	業務層	ギョウムソウ	アーキテクチャ	業務に関する処理を担う【ビジネスフロー管理】や【業務アプリケーション(サービス)】等が配置される層のこと。
23	共有データベース	キョウユウデータ ベース	アーキテクチャ	【事件データ】、【書類データ】を管理する責務を担う【システム構成要素】のこと。
24	共有DB層	キョウユウデー ビーソウ	アーキテクチャ	データの保持・管理を担う【共有データベース】が配置される層のこと。
25	ゲートウェイ	ゲートウェイ	BPM	【ビジネスプロセス】の合流や分岐等を表す【BPMN要素】のこと。 【フローノード】の一種である。 ひし形で表現される。
26	コールアクティビティ	コールアクティビ ティ	BPM	複数の【ビジネスプロセス】から呼び出される、子レベルの【ビジネスプロセス】を表す【BPMN要素】のこと。 【アクティビティ】の一種である。

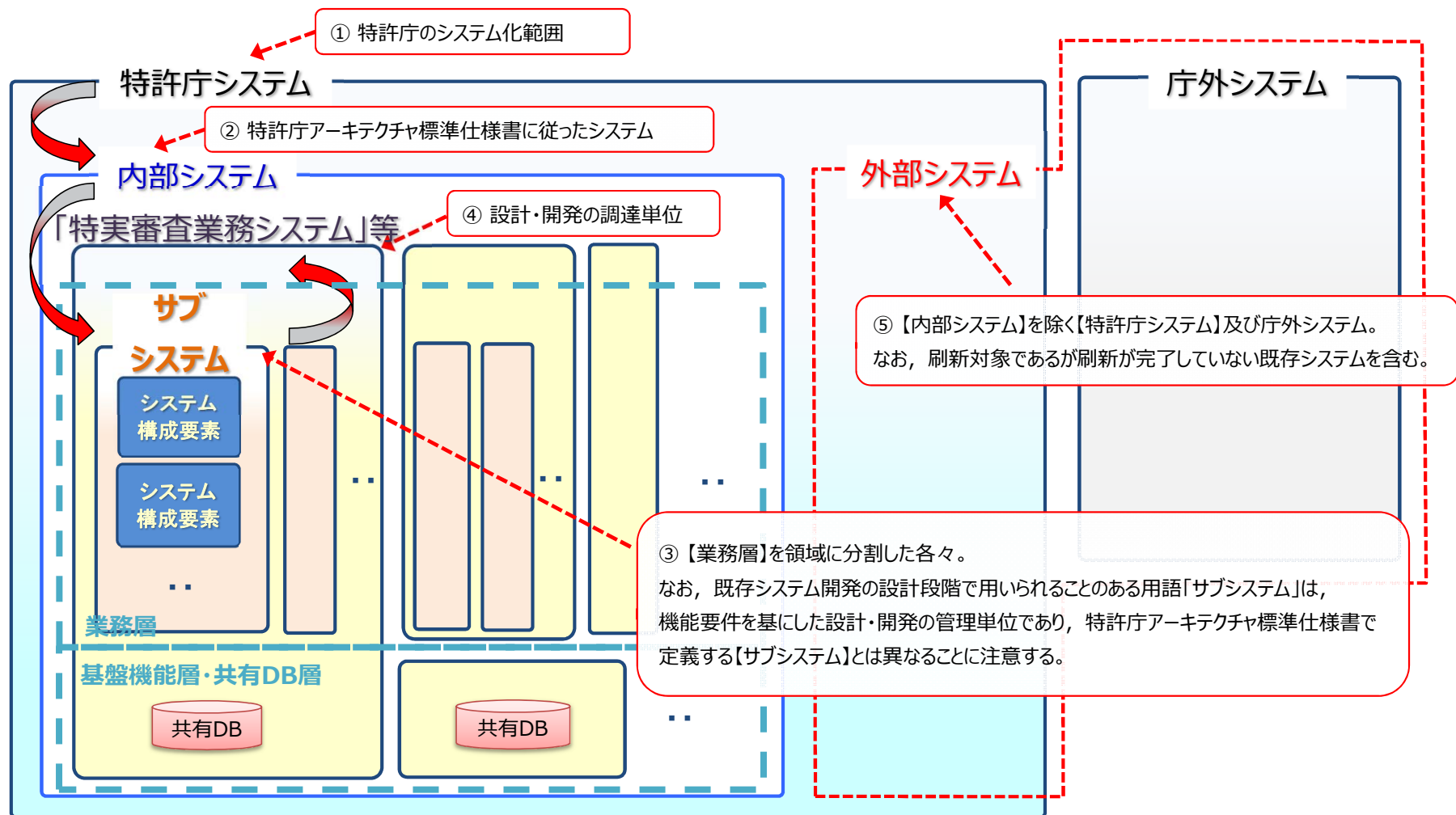
#	用語	読み仮名	用語区分	説明
27	個別業務イベントデータ	コベツギョウムイベントデータ	データ	【個別データベース】に配置されるデータのうち、単一【サブシステム】内に閉じて使用される【業務イベントデータ】のこと。
28	個別データベース	コベツデータベース	アーキテクチャ	【共通リソースデータ】、【共通業務イベントデータ】、【個別連携一時データ】、【個別リソースデータ】、【個別業務イベントデータ】を管理する責務を担う【システム構成要素】のこと。
29	個別リソースデータ	コベツリソースデータ	データ	【個別データベース】に配置されるデータのうち、単一【サブシステム】内に閉じて使用される【リソースデータ】のこと。
30	個別連携一時データ	コベツレンケイイチジデータ	データ	【個別データベース】に配置されるデータのうち、特定の【サブシステム】間でのデータの授受を目的とし、一時的に共有される【業務イベントデータ】のこと。 【伝達情報種別】、【業務キー】、【タイムスタンプ】、【伝達情報】から構成される。
31	サービスインタフェース	サービスインタフェース	SOA	特定のサービス(ここでは、業務上の一処理に相当するソフトウェアの機能のことを意味する)を提供するインタフェースのこと。
32	サービスタスク	サービスタスク	BPM	システムによって自動的に実行される業務処理を表す【BPMN要素】のこと。 【アクティビティ】の一種である。
33	サブシステム	サブシステム	システム	【業務層】を領域に分割した各々のこと。 なお、設計段階で用いられることのある用語「サブシステム」は、機能要件を基にした設計・開発の管理単位であり、特許庁アーキテクチャ標準仕様で定義する【サブシステム】とは異なる。 ※別紙『各種「システム」の呼称』参照
34	サブプロセス	サブプロセス	BPM	一の【ビジネスプロセス】から呼び出される、子レベルの【ビジネスプロセス】を表す【BPMN要素】のこと。 【アクティビティ】の一種である。
35	シーケンスフロー	シーケンスフロー	BPM	【フローノード】の順序を表す【BPMN要素】のこと。 矢印で表現される。
36	事件データ	ジケンデータ	データ	【共有データベース】に配置されるデータのうち、行政サービスに関する業務を遂行する上で台帳的な位置付けとなる事件を表す【業務イベントデータ】のこと。 例えば、出願事件データ、登録事件データ、審判事件データ、国際出願事件データ等。
37	事件データ種別	ジケンデータシュベツ	アーキテクチャ	【事件データ】全体を、特定の観点で分類した際に、その分類した単位を指し示す情報のこと。 例えば、出願事件・事件ステータス、出願人発の事件書誌等。
38	システム構成要素	システムコウセイヨウソ	アーキテクチャ	【内部システム】を構成する要素のこと。 責務・役割に応じてそれぞれ【ビジネスフロー管理】、【業務アプリケーション(サービス)】、【業務アプリケーション(画面)】、【業務アプリケーション(バッチ)】、【個別データベース】、【ビジネスルール管理】、【DBアクセス基盤サービス】、【共有データベース】、【外部システム連携】、【業務アプリケーション(外受)】に分類される。

#	用語	読み仮名	用語区分	説明
39	書類データ	シヨルイデータ	データ	【共有データベース】に配置されるデータのうち、行政サービスに関する業務を遂行する上で、申請者との間及び庁内で取り交わされる各種書類を表す【業務イベントデータ】のこと。 申請書類データ、庁内書類データ、発送書類データで構成される。
40	書類データ種別	シヨルイデータシュベツ	アーキテクチャ	【書類データ】全体を、特定の観点で分類した際に、その分類した単位を指し示す情報のこと。 申請書類(申請人から特許庁に申請された書類データ)、庁内書類(特許庁内における事実・意思決定の記録としての書類データ)、発送書類(特許庁から申請人に発送した書類データ)のいずれかである。
41	タイムスタンプ	タイムスタンプ	アーキテクチャ	【個別連携一時データ】の一部であり、【伝達情報】を【個別データベース】に格納した日時のこと。
42	タスク完了	タスクカンリョウ	アーキテクチャ	①【ユーザタスク】の状態を実行中から完了に遷移させること。 ②①を行う【ビジネスフロー管理】が提供する【サービスインタフェース】のこと。
43	DBアクセス基盤サービス	デービーアクセスキバンサービス	アーキテクチャ	【共有データベース】に配置されたデータに対して標準化された操作を提供する責務を担う【システム構成要素】のこと。
44	伝達情報	デンタツジョウホウ	アーキテクチャ	【個別連携一時データ】の一部であり、伝達すべき情報本体のこと。
45	伝達情報種別	デンタツジョウホウシュベツ	アーキテクチャ	【個別連携一時データ】の一部であり、【伝達情報】のデータ構造や、【業務キー】がどの【業務キー区分】のものであるのかを特定するメタデータのこと。【業務アプリケーション(サービス)】類型2Bの入出力項目として用いられる。
46	トークン	トークン	BPM	【ビジネスプロセスインスタンス】における現在の実行ポイントを表すもののこと。 なお、【トークン】の流れは、【ビジネスプロセスインスタンス】を構成する各【フローノードインスタンス】の状態遷移によって表現される。
47	特許庁システム	トッキョウシステム	システム	特許庁情報技術統括室において管理している、産業財産権に関する業務を行うためのシステムのこと。 ※別紙『各種「システム」の呼称』参照
48	内部システム	ナイブシステム	システム	特許庁アーキテクチャ標準仕様に従ったシステムのこと。 ※別紙『各種「システム」の呼称』参照
49	BRMS	ビーアールエムエス	製品	ビジネスルールを定義、実行、管理するためのソフトウェア「ビジネスルール管理システム(Business Rule Management System)」の略語のこと。 法改正等で頻繁に変更されるビジネスルールを【BRMS】で管理することで、環境変化に対してパラメータ等の変更のみで迅速な対応が可能となる。 なお、システム構成要素【ビジネスルール管理】は一般的に【BRMS】を利用して構築される。
50	BPMS	ビーピーエムエス	製品	【BPMN】で記述された【ビジネスプロセス】を定義、実行、管理するためのソフトウェア「ビジネスプロセス管理システム(Business Process Management System)」の略語のこと。 なお、システム構成要素【ビジネスフロー管理】は一般的に【BPMS】を利用して構築される。

#	用語	読み仮名	用語区分	説明
51	BPMN	ビーピーエムエヌ	BPM	OMG(Object Management Group)が定めた,【ビジネスプロセス】を表現するビジネスプロセスモデリング表記法(Business Process Model and Notation)の略語のこと。
52	BPMN要素	ビーピーエムエヌ ヨウソ	BPM	①【BPMN】で使用する図形のこと。 ②【BPMS】に定義した【ビジネスプロセス】を構成する各要素のこと。
53	ビジネスフロー管理	ビジネスフローカン リ	アーキテクチャ	【ビジネスプロセス】および【ビジネスプロセスインスタンス】の管理を担う【システム構成要素】のこと。
54	ビジネスフロー管理データ	ビジネスフローカン リデータ	アーキテクチャ	【ビジネスフロー管理】が【ビジネスプロセスインスタンス】毎に保持する情報のこと。 【業務キー】と【分岐条件情報】と【連携先業務キー】とで構成される。
55	ビジネスプロセス	ビジネスプロセス	BPM	業務の(一連の)流れを定義するもののこと。 特許庁アーキテクチャ標準仕様では,【BPMN】で表記することが規定されている。
56	ビジネスプロセスインスタ ンス	ビジネスプロセス インスタンス	BPM	【フローノードインスタンス】の集合体であり,特定の【業務キー】についての【ビジネスプロセス】の 進行状況を管理する実体のこと。
57	ビジネスルール管理	ビジネスルールカン リ	アーキテクチャ	【業務アプリケーション(サービス)】等の業務アプリケーションからビジネスルールを切り出した場 合,当該ビジネスルールを処理する責務を担う【システム構成要素】のこと。
58	プール	プール	BPM	一連の【ビジネスプロセス】を記述する範囲を表す【BPMN要素】のこと。 四角い実線の長方形で表現される。
59	付随情報	フズイジョウホウ	アーキテクチャ	【書類データ】本体とともにやり取りされる,【書類データ】に関する情報のこと。 例えば,書類作成日時,作成プログラムID等。
60	フローノード	フローノード	BPM	【シーケンスフロー】の両端に接続可能な【BPMN要素】のこと。 【アクティビティ】,【イベント】,【ゲートウェイ】で構成される。
61	フローノードインスタ ンス	フローノードインス タンス	BPM	特定の【業務キー】における【ビジネスプロセス】の進行状況を管理するために,当該【ビジネスプ ロセス】を構成する【フローノード】に対して【業務キー】ごとに生成される実体のこと。 属性として「実行開始可能」「実行中」「完了」のいずれかの状態を保持し,【ビジネスプロセスイン スタンス】を構成する要素となる。
62	分岐条件情報	ブンキジョウケン ジョウホウ	アーキテクチャ	【ビジネスプロセスインスタンス】が【ビジネスフロー管理データ】として保持する,分岐の判定に使 用する一時情報のこと。
63	マスタ	マスタ	データ	【事件データ】に該当する情報や当該データを格納するデータベースのテーブルを指し示す特許 庁内における俗称のこと。
64	ユーザタスク	ユーザタスク	BPM	人による操作が含まれる業務処理を表す【BPMN要素】のこと。 【アクティビティ】の一種である。
65	リソースデータ	リソースデータ	データ	業務を遂行する際の基礎情報となるデータのこと。

#	用語	読み仮名	用語区分	説明
66	利用者識別情報	リヨウシャシキベツ ジョウホウ	アーキテクチャ	システム利用者(利用元)を識別する情報のこと。 利用証跡を記録するために【サービスインタフェース】のURIにパラメータとして含められるが、当該情報自体を業務処理に用いることは制限される。
67	レーン	レーン	BPM	【プール】内の各【アクティビティ】を、実行するユーザや部署の範囲で区切る【BPMN要素】のこと。 水平方向にプールの全長にわたって実線を用いて表現される。
68	REST	レスト	アーキテクチャ	Webアーキテクチャを応用したHTTPプロトコルにより提供されるサービス(アプリケーションプログラムインタフェース)のこと。 なお、特許庁アーキテクチャ標準仕様においては、データの授受はXMLを使用する。 【補足】 一般的にはRESTの考え方をWeb APIに適用したものをRESTful APIと呼んでいる。 RESTful APIでは、URL/URIですべてのリソースを一意に識別し、セッション管理や状態管理などを行わない(ステートレス)。 同じURLに対する呼び出しには常に同じ結果が返されることが期待される。 また、リソースの操作はHTTPメソッドによって指定(取得ならGETメソッド、書き込みならPOSTメソッド)され、結果はXMLやHTML、JSONなどで返される。 また、処理結果はHTTPステータスコードで通知するという原則が含まれることもある。
69	連携先業務キー	レンケイサキギョ ウムキー	アーキテクチャ	【ビジネスプロセスインスタンス】が【ビジネスフロー管理データ】として保持する、【業務キー】の異なる【ビジネスプロセスインスタンス】と連携を行うために使用する一時情報のこと。 連携先が複数となる場合には、リスト形式で保持される。
70	ロック解除	ロックカイジョ	アーキテクチャ	①【ユーザタスク】の状態を実行中から実行開始可能に遷移させること。 ②①を行う【ビジネスフロー管理】が提供する【サービスインタフェース】のこと。
71	ロック機構	ロックキコウ	アーキテクチャ	同一の【業務キー】に対する同一の【ユーザタスク】に紐づく更新等の【業務処理】を複数の利用者が同時に実施しないようにする仕組みのこと。 【ビジネスフロー管理】が提供する、【フローノードインスタンス】の状態を遷移させる【ロック設定】、【ロック解除】、【タスク完了】の【サービスインタフェース】を用いて実現される。 なお、特許庁アーキテクチャ標準仕様における本機構は【フローノードインスタンス】の状態制御のみを対象としたものであり、データベースのロックとは異なる。
72	ロック設定	ロックセツテイ	アーキテクチャ	①【ユーザタスク】の状態を実行開始可能から実行中に遷移させること。 ②①を行う【ビジネスフロー管理】が提供する【サービスインタフェース】のこと。
73	論理対象ノード	ロンリタイショウ ノード	アーキテクチャ	(特許庁アーキテクチャ標準仕様書別冊2における【論理対象ノード】とは)【DBアクセス基盤サービス】のネットワーク上の論理的な場所のこと。

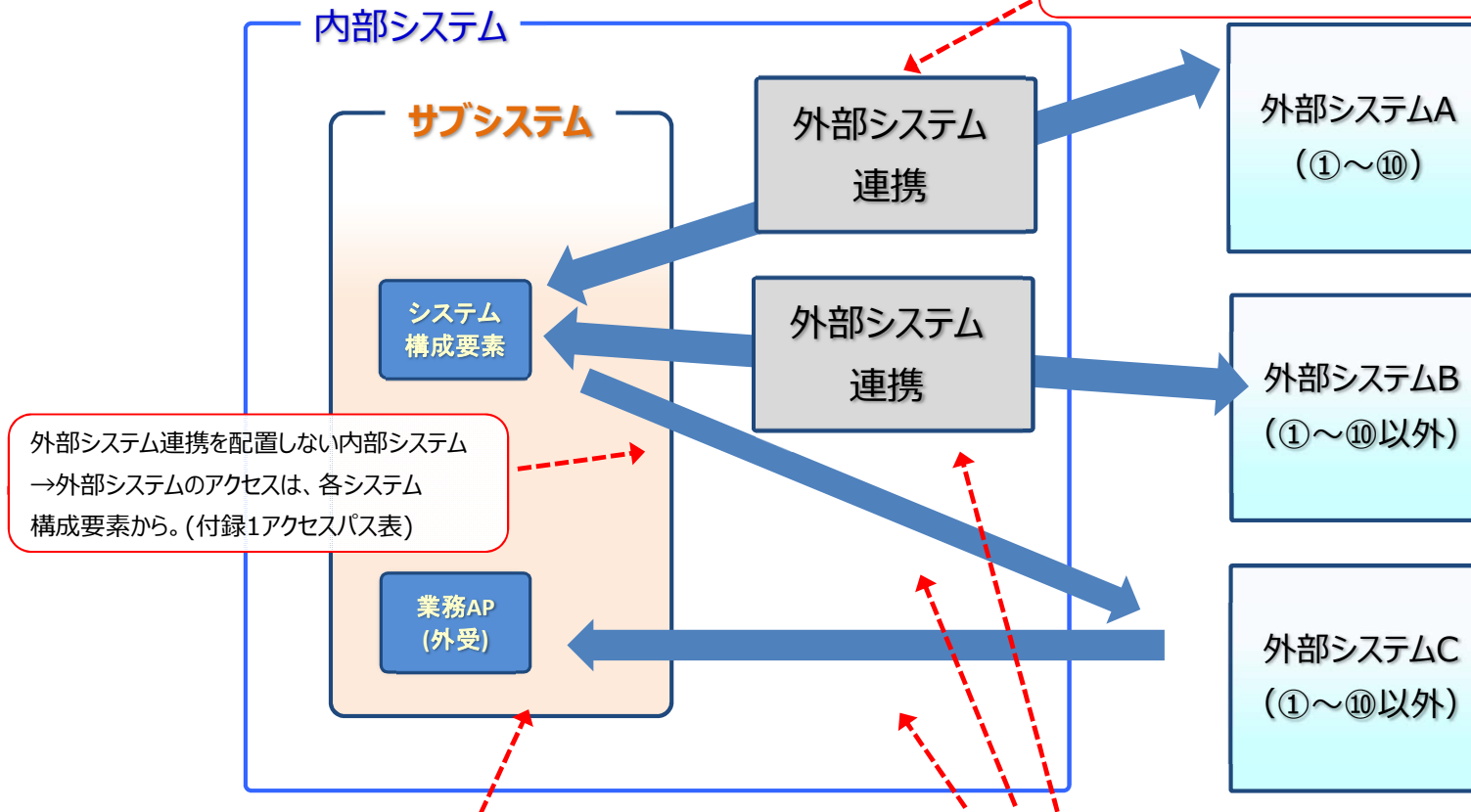
■ 各種「システム」の呼称



■ 内部システム⇄外部システム

①～⑩の外部システム：規約：3.2.9-1(1)①～⑩に挙げられている外部システム

①～⑩の外部システムとの間には外部システム連携を
配置しなければならない。（規約：3.2.9-1）



外部システム連携を配置しない内部システム
→外部システムのアクセスは、各システム
構成要素から。（付録1アクセスパス表）

外部システム連携を配置しない外部システム→内部システムのアクセスは
業務AP(外受)が受ける。（規約：3.2.10-1）

①～⑩以外の外部システムとの間には外部システム連携を配置しても、
しなくてもよい。（特許庁アーキテクチャ標準仕様書に規定が無いことから）